



観光振興



2024-2033

【概要版】

2024年3月



キミと一緒に、育っていきたい。
Komaki

こまきの観光ビジョン

こまきの観光ビジョン ～10年後の目指す姿～

“夢・チャレンジ” 観光都市



観光まちづくりの好循環を維持し、シビックプライドの醸成と
関係人口及び定住人口の増加につなげます

市民も、事業者も、行政も、小牧に集う皆が一丸となって地域の魅力を磨き、誇りに
思い、伝えることで誰もが

こ **ここに訪れたいまち** となり、訪れた人をもてなすことで

ま **んぞくできるまち** となり、観光産業の成長に

き **たいがもてるまち** となり、それが更なる地域の魅力となる。

この観光まちづくりの好循環が続き、このまちに関わりたい、暮らしたい
と思える人が増えていく。それが、小牧市がチャレンジする観光の目指す
姿です。

こ **ここに訪れたいまち** ってこんなまち
✓魅力ある観光スポットや特産品にあふれていて、
✓いろいろな媒体で、小牧市の観光の魅力が
PRされていて、
✓歴史など共通のテーマでいろいろな都市と
あわせて周遊できるまち

だれもが
訪れたいまち
こまき
こ **ここに訪れたい**
まち

観光で産業が
成長するまち
こまき
き **たいがもてる**
まち

き **たいがもてるまち** ってこんなまち
✓観光産業がまちの雇用を生み出し、
✓観光産業が地域の活性化に寄与し、
✓観光産業がまちの産業として活躍しているまち

観光まちづくりの好循環

おもてなしに
満足できるまち
こまき
ま **んぞくできる**
まち
ま **んぞくできるまち** ってこんなまち
✓おいしい食事や、楽しい体験がたくさんできて、
✓交通機関や宿泊施設が、便利で快適に利用できて、
✓まち歩きが楽しめる、魅力的な景観があって、
✓地域のおもてなしに感動し、また行きたくなるまち

小牧市観光振興基本計画(2024-2033)の体系

小牧市観光振興基本計画(2024-2033)の体系

こまきの観光ビジョン「“夢・チャレンジ” 観光都市 **こまき**」を実現するため、旅行者の時間軸に着目して、3つの戦略「旅マエ・旅ナカ・旅アト」を定めました。また、戦略を実現し、本市の課題を解決するため、小牧で旅行者にとってもらいたい行動を想定のうえ、8つの施策を設定しました。



小牧市観光振興基本計画の施策展開

旅マエ

旅ナカ

旅アト

の3つの戦略を実現するため、次の8つの施策を進めていきます。

施策1 観光地ブランディング

小牧に来訪することの価値を高め、他都市との違いを明確にするブランディング施策を展開

施策の展開方向

a コンセプトの設定

資源のコアになる価値をコンセプトとしてシンプルに言語化して表現します。

b 資源の訴求力の向上

複数の資源を一つのストーリーで繋いで魅力を増幅し、小牧へ行ってみたいという訴求力を高めます。



施策2 情報発信力の強化

観光都市としてのイメージを強化するため、SNS を中心とした情報発信を展開

施策の展開方向

a 口コミを活用した観光地としてのイメージの伝達

本市の観光地としての魅力が、口コミを通じて多くの人に伝わるような仕掛けを実施します。

b 企業や学生との共創による情報発信

異なる視点を持つ企業や学生などと連携し、小牧の観光に新たな価値を創出し、発信します。

c 戦略的なプロモーションの実施

媒体の持つ特性を研究し、ニーズやターゲットに合った戦略的なプロモーションを行います。

d 小牧山の歴史やロケーションを活用したイベントの開催等

小牧山の歴史やロケーションに着目したイベントなどを実施します。

施策3 観光マーケティングの強化

トレンドやニーズに合った観光プログラムの造成など、ICT を活用したマーケティング施策を展開

施策の展開方向

a 観光データの収集・分析・活用

客観的データを収集・分析し、今後の施策展開や魅力ある観光プログラムの造成に役立てます。



施策4 広域連携の強化

本市だけでなく、周辺市町や城郭や武将など同じテーマを有する地域と連携して観光誘客を展開

施策の展開方向

a 鉄道・高速道路等の交通事業者と連携した誘客

周辺市町などの観光スポットとの周遊ルート形成を行います。

b 他自治体と連携した協議会への参画

観光に関連した周辺自治体との広域連携を行います。



施策5 おもてなし人材育成

市民の観光に対する関与を促し、愛着や誇りの醸成につなげる施策を展開

施策の展開方向

a 観光ガイドボランティア・観光サポーターの拡充

より多くの来訪者に対しておもてなしの機会を増やし、満足してもらえるように、観光ガイドボランティア・観光サポーターの拡充を行います。

b 食や文化など様々な地域の魅力を伝える人材の確保

地域の持つ資源の魅力を外部へ発信できる人材を育成・確保します。

c 市民の観光への意識改革

本市の観光に関心を持つ市民を増やすとともに参画してもらい、本市全体でのおもてなしを強化します。

施策6 地域資源の育成・魅力向上

新たな地域資源を発掘し、育成を図るほか、今ある地域資源のブラッシュアップを図る施策を展開

施策の展開方向

a 地域資源の発掘と観光コンテンツ化

地域資源のブラッシュアップと新たな地域資源を発掘し、観光コンテンツ化します。

b 小牧でしか体験できないプログラムや小牧でしか味わえない商品の開発

地域資源を見直したり、地域資源の組み合わせやアレンジにより、他所にはない小牧特有の魅力を創出します。

c 市内における地域資源の普及啓発

市民が来訪者のおもてなし人材となり得るよう、市民を対象とした地域資源の普及啓発を行います。

施策7 観光スポットとしての環境整備

観光を快適に楽しめるよう、ハード・ソフト両面での環境整備を推進する施策を展開

施策の展開方向

a 飲食店・土産物店等の拡充

飲食機会の創出や、飲食店等を増やす取り組みを行います。

b フォトスポットの発掘・設置

新たなフォトスポットの発掘・設置を行います。

c 交通手段の利便性向上（駐車場・二次交通）

大型バス駐車場の確保、二次交通の案内の充実、新しい技術を活用した市内周遊手段の整備など、訪れる人の利便性を向上させます。

d まち歩きが楽しめる景観の整備・保存

まち歩きを楽しめるような景観の保全・整備を行います。

e 観光案内サインなどの拡充・多言語対応

案内サインの設置や、多言語対応を行います。

施策8 観光推進体制の強化

市民・市民団体、観光協会、事業者、行政が連携し推進する施策を展開

施策の展開方向

a 観光協会の事業拡大

従来の事業に加え、外国人観光客への対応やマーケティング等、これまでになかった取り組みについても積極的に関与します。

b 事業者の観光産業への参画促進・誘導と支援

補助金や自治体の一部費用負担など、新規事業者のリスクを減らし、観光事業への参入障壁を低くするための取り組みを行います。

c 事業者・観光協会・行政とのネットワークの強化

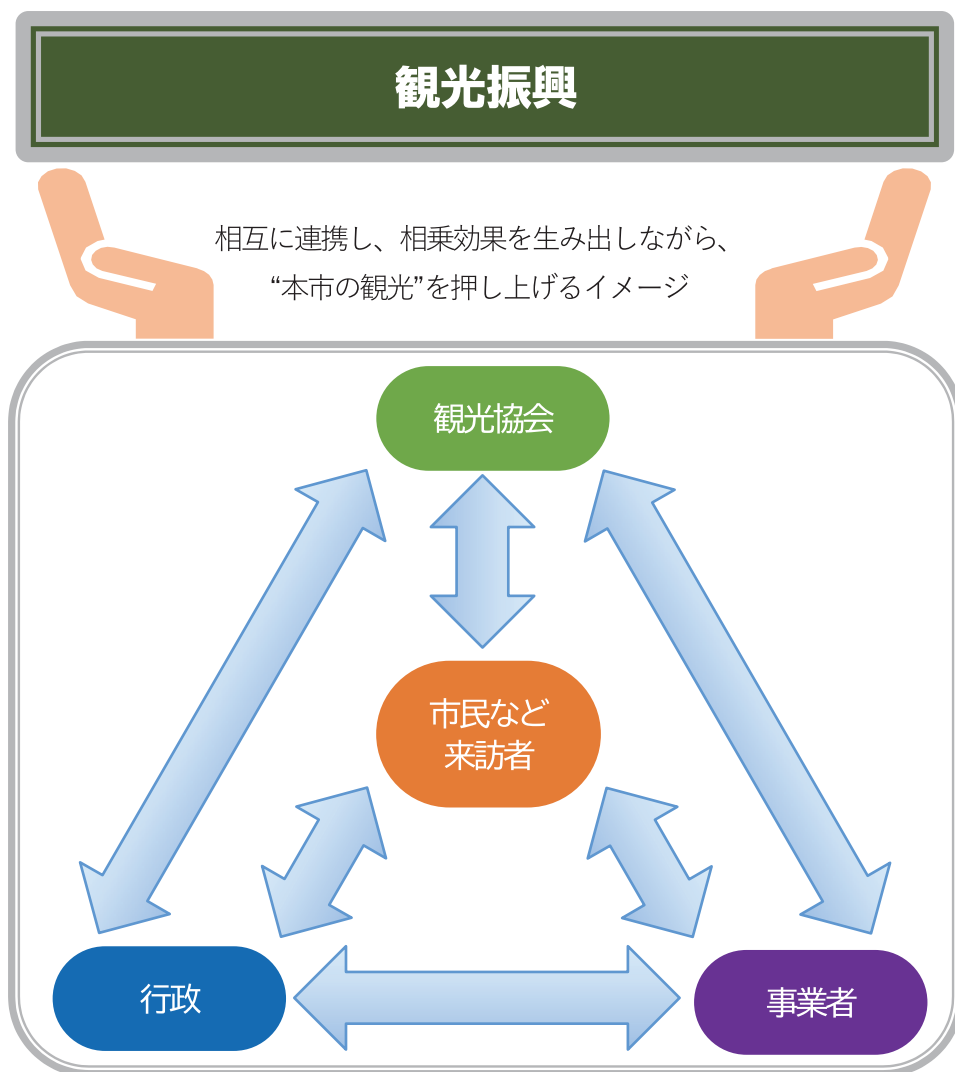
事業者・観光協会・行政がこれまで以上に強く連携し、観光振興を展開していきます。

小牧市観光振興基本計画の推進体制

計画の期間

2024 年度から 2033 年度までの 10 年間

観光振興に向けた各主体の連携イメージ



計画期間における進捗管理

「小牧市観光白書」にて評価指標の数値などの増減傾向をとりまとめ、計画の進捗状況を把握します。
PDCAサイクルにより、進捗管理と事業の改善を行います。



小牧市観光振興基本計画(2024－2033)

発行日:2024 年 3 月

発行:小牧市

編集:地域活性化営業部シティプロモーション課

〒485-8650 愛知県小牧市堀の内三丁目 1 番地

電話 0568-76-1172(直通) FAX 0568-75-8283

E-Mail citypromotion@city.komaki.lg.jp